

主な議案審議

なぜ、老人福祉センターの名称をなくすのか

問 老人福祉センターの名称を廃止することは老人福祉センターの機能の軽視ではないか。

答 住民ほけん課長 高齢者または地域、町民全体の方に利用できる施設とする。高齢者に対する今までの施策は全て継続していく。

問 なぜ戸籍謄本・戸籍抄本は交付から除かれるのか。

答 住民ほけん課長 発行できる証明書類は住民票・印鑑証明・課税証明。1つの電算システムで出来るもの。戸籍の発行は新たな電算システムを導入する必要があるため。



大川戸農村センター 存続努力せよ

問 大川戸農村センターを廃止する理由は何か。施設は大川戸の中心部に位置し、最適な立地条件にある。住民が利用しやすい施設に増改築を行い、介護予防教室にも活用されている。存続すべきだ。

答 環境経済課長 築30年経過し老朽化が進み、木造の耐用年数22年も越えた施設だ。近くに緑の丘公園集会施設や自治会館もあり住民が利用する施設は確保されている。敷地は借地で地権者から返還打診され、老朽化も考慮し廃止条例を提出した。介護予防教室は、他で対応したい。

問 老朽化をそのまま放置したのは町の責任。増改築や建替えるべきだった。高齢者の徒歩の行動範囲は500m以内と言われており、予防事業は会場が近いことが重要なポイント。現施設の立地条件から存続努力すべきだ。町に借地権があり、交渉せよ。

答 町長 建替えや修理は、貸主の了解がないとできない。介護予防事業は何ら変更がなく、場所が変わるだけで事業の後退はない。

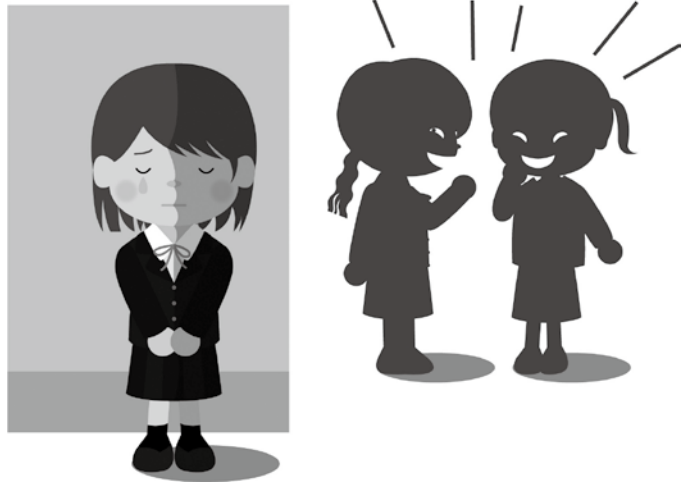
反対討論

施設の老朽化は、増改築か建替えよ。介護予防も支障が出る。大川戸地区の貴重な施設であり、存続に向けて地権者と交渉すべきであり、廃止に反対する。

いじめ問題は解決できるのか

- 問 ①いじめ問題対策連絡協議会の設置
 ②いじめ問題対策調査委員会の設置
 ③いじめ問題再調査委員会の設置
 これらの関係性について説明せよ

- 答 教育総務課長 ①は、学校のいじめ防止方針の連携、情報交換、協議を行う。11名のメンバーで構成。
 ②は、重大事件が起きたとき、教育委員会が諮問をかけ調査する。教育、法律、医学、福祉の専門的な知識を有する5名のメンバーで構成。
 ③は、児童の生命、心身、または財産に重大な被害が生じたとき、長期欠席の状態になったとき、町長の諮問として調査を行う機関。



通所介護事業の町管理は大丈夫か

- 問 平成28年4月より定員18名以下の通所介護事業所は松伏町指定の地域密着通所介護事業所となる。
 ①対象となる事業所数
 ②施設の職員基準の管理
 ③事業所の計画書とケアマネージャーが作成するケアプランとの整合性

- 答 住民ほけん課長 ①は6ヶ所。②は年に1回現地に赴き実施指導を行う。③は事業者の計画書を家族に十分説明し、同意を得てサービスする。

